

# ふくおかのみくし

3月号  
2011.126号



「平成 22 年度いきいきサロンで元気高齢者セミナー」  
参加者 1,300 人によるピンシャン体操  
(平成 23 年 3 月 1 日 福岡国際会議場)

- **特集 1 良質かつ適切な福祉サービスを実践するために 社会福祉施設の展望**
- **福岡県が推進する 70 歳現役特区**  
福岡県 70 歳現役社会づくり研究会報告書提出
- **障害者施設と九大農学博士が共同開発 障害者がつくったBC菌たい肥**
- **特集 2 無縁社会からの脱却**  
～誰もが安心して暮らせる地域社会をめざして～
- **子育ての緊急時に備えて**  
ファミリー・サポート・センター事業担当者会議
- **平成 22 年度 赤い羽根共同募金 実績報告**



# 特集 1

## 良質かつ適切な福祉サービスを実践するために 社会福祉施設の展望

現在、高齢者・障害者の福祉制度について、介護保険法改正（平成24年）及び障害者総合福祉法制定（平成25年）に向けて、検討が進められていますが、利用者の立場に立った公正で倫理的な経営を求められる社会福祉施設にとっては、厳しい経営を余議なくされている現状があります。

本特集では、麻生渡福岡県知事からこれまでの社会福祉施設の取り組みと今後の期待について寄稿していただくとともに、社会福祉施設が良質かつ適切な福祉サービスを提供するために何が必要なのか、社会福祉施設の厳しい現状を踏まえて、老人・障害者分野の社会福祉施設種別協議会会長に、社会福祉施設の今後の課題や展望について寄稿いただきました。

また、県社協が各社会福祉施設種別協議会と連携して取り組んでいる福祉人材の確保や災害対策、サービスの質の向上のための人材育成等について課題と今後の方針を取り上げます。

### 麻生渡福岡県知事が語る これからの社会福祉施設に寄せる期待



社会福祉施設をはじめ福祉関係者の皆さまには、日ごろから県民福祉の向上にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

少子高齢化が急速に進行する中、社会福祉・社会保障の分野では、介護保険制度創設、障害者自立支援法施行など、従前の「措置制度」から利用者が選択できる「契約制度」へと大きな制度改革が進みました。さらに、現在、国において、年金や医療、介護、障害者福祉などの制度改革が議論されて

おり、社会福祉・社会保障に対する県民の関心は一段と高まっています。

社会福祉施設の皆さまには、さらにサービスの質の向上を目指していただき、利用者との厚い信頼を築いていただきたいと考えています。

わが国は、世界一の長寿国となりました。意欲にあふれ、知識や経験の豊富な高齢者が多いということは、誇るべきことです。県では、活力ある高齢社会を築いていくために、新たに、高齢者が健康でいきいきと働き活躍することができる社会を目指す「70歳現役社会づくり」に取り組んでいきます。

平成13年度から開催している「ねりんんスポーツ・文化祭」にも引き続き取り組み、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりを支援してまいります。

また、特別養護老人ホームの整備や福祉・介護分野における人材の確保など、より質の高い介護サービスを提供できる基盤整備を進めてまいります。

障害のある方が地域で安心していきいきと暮らせる社会を目指し、社会参加や雇用拡大を進めていきます。障害者がつくった芋焼酎「自立」は、昨年6施設で栽培した芋を原料に8千本を出荷し、半年で完売しました。今年は9施設で栽培に取り組み、1万2千本を販売目標にしています。「自立」をはじめとする「まごころ製品」の販売促進に努め、障害者の所得向上を目指す自立支援策を推進していきます。

皆さまには、今後とも、県政に理解と協力をいただき、一体となつて県民福祉の向上にご尽力くださいますようお願いいたします。

## 福岡県老人福祉施設協議会

会長 原 嘉伸 氏

急速な少子高齢化、核家族化、女性の社会進出によって、大きく家庭の機能が変化し、家庭での介護が困難になってきています。施設では入所を希望される方がすぐに入所できない厳しい現状にあり、同時に施設内の介護職の人材不足が急務の課題となっています。

それらの課題に対応するために、福岡県では、緊急経済対策の一環として、施設整備計画（福岡市、北九州市を除く）で、460床の増床を図ることによって、入所希望者の解消や、新規職員250名の雇用などを進めることとなっています。

また、緊急雇用対策の一環として、介護関係の資格を持たない求職者を対象に「福祉・介護人材育成就業促進事業」も実施され、これまでに約700名の離職された方々が介護施設に「介護補助員」として派遣され、同時に資格取得のために「ホームヘルパー養成研修2級

課程」を受講しておられます。受講者の皆さんが、現場での経験を重ね、一日も早く福祉の職場で活躍してほしいと願っています。

施設としても職員が希望を持って、安心して仕事ができる環境を整え、介護サービスの質の向上に繋がるよう努めてまいります。

今後は地域での高齢者の単身世帯及び高齢者のみの夫婦世帯が増加することが予測されています。住み慣れた地域、住みたい場所で暮らし続け、安心して年をとりたいという思いに、私たちも地域の方々と一緒になって考え、これからの地域社会を共に構築していくことが重要であると考えています。

そのために、地域包括ケア（24時間365日連続した包括支援体制）を実施できるよう、平成24年度の介護保険、医療保険の同時改正に向け、その財源を確保できるような社会保障のあり方の検討に積極的に参画してまいります。

## 福岡県身体障害者福祉施設協議会

会長 日野 博愛 氏

今、社会福祉とりわけ障害者施策は大きな変革の中にあるといっても過言ではありません。この10年を振り返っても、措置制度から支援費制度、さらに障害者自立支援法を経て、今新たな制度の仕組みが構築されようとしています。

しかし私達、障害者支援施設関係者は、制度がどのように変わろうとも利用者本位の考え方は変えてはならないものの一つだということとを、認識すべきではないでしょうか。

障がい者制度改革推進会議の構成員25名のうち半数以上が、障害当事者あるいはご家族の方で占められているということは、障害者権利条約採択のスローガンである、「私たち抜きに私たちの事を決めないで」に沿ったものとして一定の評価はできると思います。

また、これからの障害者支援施設には、「保護の客体から権利の主体へ」という権利条約の理念に基づ

く取り組みが求められるということも、考えておかなければなりません。

地域生活支援と権利擁護は、福岡県身体障害者施設協議会としての新たな課題です。しかし、入所支援施設がこれまで果たしてきた役割は、大いに評価されるべきであり、その上で、入所支援と地域支援を両軸とした展開を図ることが重要だと考えます。



# 福岡県社会就労センター協議会 福岡県セルプセンター

会長 上田 正勝 氏

日本の経済は、少子高齢化やデフレスパイラルなどの影響で完全失業率も4.9%、失業者数298万人（平成22年12月統計）と未だ厳しい雇用状況にあります。障害者の雇用率も平成22年度は1.68%と低く、法定雇用率1.8%にも達していない状況です。

このような社会状況の中、一般就労が困難な障害者に対して、福祉的就労を支援する社会就労センター（授産施設）の工賃は平成18年度全国平均が12,000円と低く、国は打開策として、平成23年度までの5年間で平均工賃の倍額を目指す工賃倍増5ヵ年計画を策定しました。福岡県も福岡県社会就労センター協議会と協力して事業を実施しています。

その事業の一環として、福岡県の障害者福祉施策を積極的に推進している麻生渡福岡県知事は、働く暮らす施設（SELPⅡ授産施設）

の利用者の方達の所得保障として、「まごころ製品」の製造・販売などに福岡県として力を入れて頂きました。障害者が栽培した芋を使った芋焼酎「自立」や県内産小麦を使った「まほろばパン」、米粉を使った焼き菓子、さをり織りを取り入れた縫製品など、知事自らが提案し、率先して宣伝していただき、心より御礼と感謝申し上げます。「自立」に携わった施設の工賃も平均1,500円ほどアップしており効果を上げています。

今後の授産施設の課題としては、地域で安心・安全に生活できる条件整備が不備なまま、障害者自立支援法の経過措置後の福祉的就労を希望する障害者の行き先が不透明であることや内閣府による障がい者制度改革推進会議において、財政的な根拠がないままに進められている障害者基本法改正や総合福祉法の行方を大変憂慮しています。

## 特集1 良質かつ適切な福祉サービスを実践するために

### 課題

# 合同面談会に見る福祉分野の**人材不足**

## 福祉の職場に求められる人材とは

今春卒業予定の大学生の就職内定率（昨年12月1日現在・厚労省・文部科学省調査）が68.8%と大変厳しい状況の中、2月4日に春日市のクローバープラザで開催された福祉の職場合同就職面談会では、132の社会福祉法人・介護サービス事業者が面談を行いました。

求人状況は975人の求人（常用790人、パート185人）と、昨年同時期（955人）より微増となりました。一方、求職者は、775人と昨年同時期の求職者（1,132人）を下回りました。

福祉分野の人材不足は年々深刻化しており、求人施設の担当者からは、「入浴や排せつ介助など介護は事故のリスクを伴う。限られた人数でどう対応するのか、職員の配置には細心の注意をはらっている。」「職員の体調不良等に対応する夜勤時の交代職員が足りない。」など、厳しい施設の現状を伺いました。

一方で、求職者に面談を希望する施設について尋ねたところ、重視する点は「施設の方針」で、長く働けて、「やりがい」を持てる職場を選びたいという意思が感じられました。

【職種別求人の状況】

区分	求人数(人)	割合 (%)
介護職	505	51.8
看護職	112	11.5
介護支援専門員	35	3.6
サービス提供責任者	20	2.1
ホームヘルパー	119	12.2
相談員、支援員、保育士	148	15.2
作業療法士、理学療法士	18	1.8
事務職	11	1.1
合計	975	100.0

介護労働安定センターによると平成20年度の介護労働者の所定内賃金は月平均21万2,432円（勤続4・8年、44・6歳）で、これは、厚生労働省がまとめた産業全体の29万4,500円（勤続4・8年、44・6歳）を下回っています。

ただし、介護保険施設及びサービス事業所の経費は介護保険でまかなわれており、国による3年ごとの介護報酬の見直しで変わります。

福祉・介護職員が安心して仕事を続けられる、財源の確保と仕組みづくりが、求められています。

### 施設長・施設の求人担当者に聞く 福祉の職場に求められる人材像

福岡県社協の人材・情報課では、求職者と求人施設のマッチングを的確に行うため、福祉相談員が施設や事業所を訪問し、施設の求人状況や福祉の職場に求められる人材について聞き取りをしています。

「採用時に重視するのは、資格はもちろん、人柄・性格。次に熱意。人を相手にする仕事なので、その人の立場に立てる人」という意見が多く聞かれました。

また、福祉介護人材育成就業促進事業などを活用しながら、他分野からの転職者も多数受け入れており、人柄や性格、社会人として仕事に取り組み誠実さなどに注意しながら、採用しているとのことでした



【問合せ先】  
福岡県社協 福祉人材センター  
Tel 092 (584) 3310

## 福岡県緊急雇用対策

### 資格がなくても

### 福祉の職場で働きたい人を応援

### 福祉・介護人材育成就業促進事業

福岡県では、平成21年から、緊急雇用対策として、企業・事業所等の事情により離職・失業された方々について、派遣会社を通じて、県内の社会福祉施設に「介護補助員」として紹介派遣するとともに、「ホームヘルパー養成研修2級課程」の資格を取得していただく介護の「福祉・介護人材育成就業促進事業」を実施しています。既に684名の人材を各社会福祉施設へ派遣しており、既に249名の方々が正規雇用につながっています。

福岡県では、雇用の創出と福祉・介護分野の人材確保を目指した本事業の必要性を考慮し、募集人員を600名から750名に増員して実施することとなりました。

このため、福岡県社協では、福祉施設あてに派遣職員の受入れについて依頼するとともに、ホームヘル

パー2級課程の講習を実施し事業の推進に努めています。

#### 福祉・介護人材育成就業促進事業 事業実施状況

(平成23年3月7日現在)

派遣受入目標達成率 91.20%

- ・派遣受入目標数 750人
- ・派遣受入申込数 698人
- ・派遣決定数 684人
- ・派遣満了者 462人

#### 【内訳】

- ①常勤雇用成立 249人
- ②常勤雇用不成立 213人

【問合せ先】福祉施設部施設課  
Tel 092 (584) 3377

# 災害から施設利用者の命を守る

## 全国初 施設合同防災訓練を実施

近年の度重なる集中豪雨、台風等の自然災害やグループホームの火災などは、施設利用者の生活に大きな影響を与えています。昨年10月に奄美大島で起きた記録的な大雨では、グループホームのお年寄りの尊い命が奪われました。

福岡県社協では、このような現状を踏まえ、各社会福祉施設種別協議会と連携し、昨年8月に災害支援対策専門委員会を開催しました。

専門委員会では、施設の災害対策についてアンケートを実施したところ、火災の防災訓練を行っている施設は9割に上るものの、それ以外の災害を想定した訓練を行っている施設は少ないとの現状が明らかになりました。

また、委員会では、「災害対策には職員の意識啓発が不可欠」という意見も多かったことから、平成23年1月19日と25日に、春日市のクロー

バープラザで火災・風水害、地震等を想定した10種目の実地訓練を行う「社会福祉施設防災訓練」を開催しました。

社会福祉施設が種別を越えて参加する合同の防災訓練は県内初であり、492名の職員が参加しました。

下記写真の訓練の他、地震車による地震体験や、エアートントの中に煙を充満させ、煙が充満した部屋での誘導の難しさを知っていただく避難誘導訓練、災害時の安全確認に有効な災害伝言ダイヤルの活用を体験し、安否確認の有効手段を知る伝言ダイヤル擬似体験などを実施しました。

講評をいただいた春日・大野城・那珂川消防組合消防本部予防課の宮嶋文洋指導係長は、施設に応じた訓練計画を立て、地域や地元住民とともに防災力を高める必要性について、指摘されました。



●土のう作成、土のう積み訓練  
土のうのつくり方や積み方、また、緊急時に、土のう袋が準備できない場合にプランターなどを活用して、土のうをつくる方法を学びました。



●瓦礫からの救助、避難訓練  
災害時の瓦礫を再現し、車のジャッキなどを使用して救助しました。救出後、毛布や上着、物干し竿などを使用した簡易担架を作成し、安全な場所に運びました。



●応急処置の方法  
AEDの操作方法や救急道具がない場面での出血のときの止血方法、骨折時の雑誌等を利用した応急手当の実習を行いました。



●ロープ結束訓練  
水害などの災害時にロープが人の命を助ける有効な道具であることから、ロープの結び方や使い方を体験しました。

いつまでも元気で活躍したい

70歳現役社会づくり

## 福岡県が推進 70歳現役特区

### 福岡県70歳現役社会づくり研究会報告書提出

福岡県では、社会の活力を維持するため、高齢者が健康で元気に働き活躍することができる「70歳現役社会づくり」を目指しています。

活力ある高齢社会のモデル地域「70歳現役特区」の実現のため、昨年6月に「福岡県70歳現役社会づくり研究会」が設置され、これまで6回の会合が開かれました。

この研究会は、学識者や高齢者団体、経営者協会、NPO法人などの代表ら19人で構成されており、福岡県社協平山良明会長も委員として参画しました。

去る2月8日、「70歳現役社会づくり研究会」は、検討結果をまとめた報告書を麻生渡知事に提出しました。

報告書では、多くの高齢者が65歳を過ぎても働きたい、社会貢献したいという意欲にあふれ、地域で活躍できる場を求めていることを指摘し、高齢者の就業や社会参加を促すボラン

ティア活動の情報提供などを一括して行うセンターの設置などを提案しています。

また、65歳以上の方が新たに働き始めるにも雇用保険に加入できないなど、就労を妨げるような現行制度の改善も必要とし、法制度や財政支援などの特例が適用されるよう、国の特区制度を活用することも訴えています。

報告書の内容を広く周知するため、3月28日に西鉄グランドホテルで「70歳現役社会づくりシンポジウム」が開催されます。基調講演講師に作家の堺屋太一氏を迎え、専門分野の皆さんのパネルディスカッションも行われます。

70歳現役社会づくり研究会の報告書は、福岡県のホームページでご覧いただけます。

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/f17/70tooku08.html>

## 70歳現役社会づくりシンポジウム



【堺屋太一】：東京大学経済学部卒業後、通商産業省入省。日本万国博覧会を企画・実施。退官後、予測小説「油断!」[団塊の世代]等がベストセラーに。98～00年まで経済産業庁長官を歴任。上海万博では日本産業館代表兼総合プロデューサーを務めた。

### ■基調講演

「団塊の世代が活力ある社会を創る」(仮)

作家・経済評論家 堺屋 太一氏

### ■研究会報告

福岡県70歳社会づくり研究会 委員長

法政大学大学院教授 藤村 博之氏

### ■パネルディスカッション

「高齢者がいきいきと働き

活躍することができる社会を目指して」

- ・富士電機ホールディングス(株) 特別顧問 加藤 丈夫氏
- ・プロデューサー 残間里江子氏
- ・NPO 法人えふネット福岡 専務理事 蓼原 典明氏
- ・上智大学法学部教授 森戸 英幸氏

- 日 時 3月28日(月) 13:30～16:30(開場13:00)
- 会 場 西鉄グランドホテル 2階プレジール(福岡市中央区大名2-6-60)
- 定 員 500名 ※事前申し込みが必要となります。
- 問 合 せ 先 福岡県福祉労働部労働局新雇用開発課 電話:092-643-3593

## 障害者施設と九大農学博士が共同開発

### 障害者がつくった

### BC菌たい肥

八女市にある知的障害者更生施設「ふるさと」(社会福祉法人伍福会)では、平成22年から、九州大学農学博士の久米秀氏と共同で、高濃度有機たい肥BC菌の開発に取り組んできました。

BC菌とは、高熱性放線菌、セニイ素分解菌、光合成細菌の3種混合菌からなる細菌で、久米秀先生が昭和60年に発見し、特許を取られました。

植物ホルモン剤を一切使用しておらず、様々な作物に使えるうえ、土壌環境が良くなり、花類は生育や開花が早く、長く咲き続けるほか、野菜、果樹は、細根が多く生育が早くなるなどの特徴があり、



作物もおいしく育ち、収穫後の日持ちがよくなるなどの効果があります。「ふるさと」では、

これらの効果を活かし、久米先生の指導のもと、多くの施設の利用者が携わり、BC菌にキノコの残渣、油かす、米ぬか、もみガラを加えた高濃度の有機たい肥「BC菌たい肥」を開発しました。

ふるさとの中島施設長は、「障害を持つ方々にとって、土に触れる作業は、精神的にも良い影響を与え、非常に適しています。施設では、現在、このたい肥を近くの農家で試験的に使っていたが、好評です。販売もはじめており、その売上は、施設を利用する障害者の皆さんの収入に少しでも反映させていきたいです。販路の拡大が今後の課題です。」と語られました。

「BC菌たい肥」は3リットル450円、20リットル2,400円で販売しています。

#### 【問合せ先】

社会福祉法人伍福会ふるさと

八女市龍ヶ原196-6

Tel 0943(30)2060

福岡県社協は福岡県民共済生活協同組合様から600万円の多額のご寄付をいただきました。

同組合では、平成18年に協同組合創設20周年を記念して、県社協に多額の寄付をいただき、小規模共同作業所の送迎・活動用車両や、子育てサロンの貸出用遊具を配分させていただきました。

以来、毎年ご寄付を頂いております。今年いただいた寄付金も、福岡県民共済



福岡県民共済山口理事長(左) 福岡県社協隈本常務理事(右)

## 福岡県民共済様からのご寄付 障害者の働く場を支援

生活協同組合様のご意向により、県内6カ所の小規模共同作業所へ配分され、障害者の働く場である小規模共同作業所の活動用車両購入のために活用されます。

去る1月25日に行われた贈呈式では、福岡県民共済山口敬男理事長から隈本英臣県社常務理事へ目録が贈呈されました。

贈呈式で、福岡県民共済の山口敬男理事長は、「地域や職場で共に助けあい、生活に根差した保険をつくるため、割安な掛金で質の高い保障内容を実現してまいりました。県民共済に加入された多くの方が喜んでいただけるよう、県内の社会福祉向上に役立てていただきたい。」と語られました。福岡県民共済生活協同組合様、本当にありがとうございます。

#### 【問合せ先】

総務部 総務課

Tel 092(584)3377

県民共済は営利を目的としていません。  
ご加入者を第一に考えています。

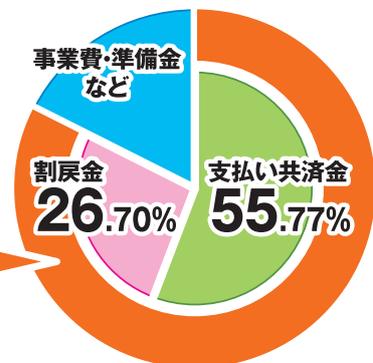
“人と人とが助けあう”それが県民共済の原点です。  
人と人をつないでいくことで、小さな掛金でも  
充実した保障を提供することができます。  
ひとりでも多くの方が、豊かな生活をおくれること  
それがわたしたちの願いです。



## 掛金はご加入者のために使っています。

平成21年度は、掛金の約82%が共済金と割戻金にあてられました。これを還元率といい、お預かりした掛金がいかにご加入者のお役に立ったかを示すバロメーターとなっています。県民共済は、ムダを省いた低コスト経営を実践していくことで、これからも還元率の向上に努めてまいります。

平成21年度 県民共済グループ  
すべての共済事業の合計



掛金還元率 **82.47%**

この部分をご加入者に還元されます。

# 特集2

## 無縁社会からの脱却 誰もが安心して暮らせる地域社会をめざして

### 地域住民同士に必要とされる「絆」づくり

近年、高齢者の所在不明問題や孤立死の増加など、家族間や住民同士の関係の希薄化を一因とするさまざまな社会問題が発生しています。また、昨年1月に放送されたNHKスペシャル「無縁社会」3万2千人の衝撃」では高齢者の孤独死、所在不明問題の背景が明らかになり、「無縁社会」は現代の社会問題を表す言葉として大きな話題となりました。

このような現状の中、社会福祉協議会をはじめ、民生委員・児童委員、関係団体が連携し、誰もが安心して暮らせる地域社会をめざした県内の地域福祉を推進する取り組みを模索する必要があります。本特集では、「無縁社会」に焦点を当て、「無縁社会」3万2千人の衝撃」の番組ディレクターである板垣淑子氏、福岡県民生委員児童委員協議会の活動から、無縁社会の現状や、今後取り組むべき課題、無縁社会解決にむけた糸口について考えます。

福岡県社協では、高齢者の生きがいづくり・健康づくり、閉じこもり防止、介護予防につながる取り組みとして、高齢者のふれあい・いきいきサロン活動の活性化を図ることを目的に3月1日に福岡市の福岡国際会議場で「平成22年度いきいきサロンで元気高齢者セミナー」を開催しました。

今年で5回目を迎えるこのセミナーは、県内69市区町村から市区町村・社協関係者やサロン関係者、ふくおか健康隊など約1,300名が参加し、高齢者の元気づくりについて熱心にセミナーを受講されました。講師にNHK報道局社会番組ディレクターの板垣淑子氏を迎え、「無縁社会に立ち向かえ」をテーマに誰が安心して地域で生活するために何が必要なのか、私たちができることについて、講演していただきました。

無縁社会に立ち向かえ  
支えあう豊かな地域をめざして



NHK報道局社会番組ディレクター  
板垣 淑子氏

無縁死となった方の足跡を追う中で、晩年になって一人で最期を迎えた方でも、その多くはそれまで縁を大事に生きてきた方々が多いという現状に「違和感」を覚えました。

実際に取材を進める中で、日本独自の地域社会との「地縁」、家族との「血縁」、職場との「社縁」が失われている現状と一人暮らしの高齢者の現状を見ることができました。亡くなった後の遺体の引取り人がいないため、誰にも迷惑をかけたくないという理由から、「葬儀サービス」の契約をする高齢者、親類や友人など話し相手がいないという理由から、利用料を払い「電話相談サービス」を利用しての方などが増加している、家族間や住民同士の関係の希薄化を痛感しました。番組放送終了後にも、多くの一人暮らしの高齢者の方から「今は元気だが、将来が不安。」「私も無縁社会にいる。」などのお声をいただき、無縁社会の深刻さをあらためて考えさせられました。

一方で、住民同士でNPO法人を立ち上げ、一人暮らし高齢者の見守りや、地域の清掃活動など、地域福祉活動を通して、人と人との繋がりを築いている地域や、高齢者世帯が

# 実践報告 住み慣れた地域で元気に暮らすために

多い地域では、子供と触れ合う機会を設けるなど、無縁社会に歯止めをかける取り組みを行っている地域にも出会うことができ、無縁社会からの脱却のために住民自ら働きかけを行っている動きを感じることもできました。

無縁社会に立ち向かうためには、制度の枠組みも必要ですが、地域社会において住民同士が力を合わせ、住民同士の力で地域社会のネットワークづくりをすることが重要ではないかと考えます。



「いきいきサロンで元気高齢者セミナー」で行った実践報告会では、県内のサロン数が2,398カ所まで普及した現在、各地域で実際にサロンや福祉会等を起点に地域福祉活動を実践している方々に報告いただきました。報告いただいた内容の中には、住民が主体となつて無縁社会に立ち向かうためのヒントが見い出せます。

## サロンからの展開「地域リビング」の取り組みについて

### 水俣市社会福祉協議会



熊本県 水俣市社会福祉協議会 田代久子氏

水俣市社協では、小地域ネットワークにおける「水俣方式」の創出や介護予防活動を中心としたまちづくりなど、徹底した住民参加による「参加する福祉」を基本として事業に取り組んでいます。「さまざまな社会資源を活用しながら、地域を一つの家族に見立て、地域全体でお互いを支え合う『地域リビング（地域のお茶の間づくり）』を進めており、住民にとって心の拠り所になっている」と報告されました。

## 地域に根付いたサロン活動の取り組みについて

### 朝倉市 毘沙門の里

毘沙門の里では高齢者が元気で、いきいきと暮らしているように、身近で気軽に出かけられる交流の場を開きたいとの思いから、「楽しく」「気楽に」「無理なく」をモットーに、参加者が自由にくつろげる空間として毎月一回のサロンを開催しています。また地域行事への参加や、子どもの日交流会を設けるなど、地域における「地縁」の希薄化が深刻化する現代において、「地縁」をより深いものにする活動がされています。梶原宏氏は「ボランティアには、①参加者に楽しんでもらうためには自分自身が楽しむこと。②無理をせず、自分ができる時にお世話をすることを大事にしてもらいたい。」と報告されました。



朝倉市 毘沙門の里 梶原宏氏(上) 草場登美雄氏(下)

## 安心して住み続けられる地域づくり

### 古賀市 花鶴丘三丁目区福祉会



古賀市 花鶴丘三丁目区福祉会 区長 山本信也氏(上) 福祉会長 平岡英子氏(下)

花鶴丘三丁目区福祉会では、自治会と福祉会が、住民同士のつながりや、社協等の関係団体と連携したネットワークづくりを行っています。

住民のニーズから生まれた「お出かけサポート活動」は、買い物サポートや、通院サポート、お出かけミニ見ツアーなど、地域のボランティアの自家用車によって実施され、一人暮らし高齢者の生活を支えています。

山本信也区長は「町づくりの基本は仲間づくり。この区に住んで本当に良かったと思ってもらえるような町づくりに取り組んでいきたい。」と報告されました。

【問合せ先】地域福祉部地域課  
TEL 092 (584) 3377

# 民生委員児童委員に今、求められるもの

## 孤立死を見逃さない

### 地域と連携した民生委員の活動

筑後市にある高齢者サロン「一条地域デイサービス」では、自分たちが暮らす地域で孤立死が出たことをきっかけに、民生委員と福祉員と福祉相談員が連携して見守り活動を開始し、現在はサロン活動と見守り活動を一緒に実施しています。

福祉相談員が訪問した時の健康状態を訪問記録表に記録し、福祉員、民生委員と情報を共有化し、要支援者の把握に努めています。

現在活動されている民生委員の松本五枝さんは、当時の見守り活動と現在の活動の違いについて「孤立死が出た11年前、それまで1地区2人の民生委員に委ねられていた一人暮らし高齢者の見守りに福祉員1名、福祉相談員6名で取り組みました。訪問の回数も月4回に増え、見守りも手厚くなりました。現在、一人暮らし高齢者世帯が増える一方、民生委員のなり手不足や、個人情報保護により実態が把握にくいなどの課題があります。一条行政区では、民生委員と福祉員、福祉相談員が協力し、高齢者の見守りに取り組んでいます。この活動が10年以上続いたの

も、みんなで協力してきたからだと思っています。」と語っていただきました。



民生委員・福祉相談員・福祉委員による情報交換

## 民生委員児童委員協議会

### 新役員体制発足

民生委員児童委員は民生委員法に基づき、厚生労働大臣から3年間の任期で委嘱されるものです。平成22年12月1日、全国で民生委員児童委員の一斉改選が行われ、福岡県では新たに、4863名が委嘱されました。

2月15日に行われた、福岡県民生委員児童委員協議会の評議員会では改選に伴う正副会長が選出され、新しい役員体制が発足しました。

福祉課題の多様化、複雑化に伴い、地域福祉の担い手である民生委員児童委員の活動にさらなる期待が寄せられる中、福岡県民生委員児童委員

協議会の新会長に就任された執行利孝会長に、民生委員としての今後取り組みについて語っていただきました。

## 地域福祉の担い手として

（福岡県民生委員児童委員協議会の展望）

### 福岡県民生委員児童委員協議会 会長 執行 利孝

近年、少子高齢社会の到来、経済状況の急激な悪化、地域住民相互の社会的なつながりの希薄化など、地域住民は、孤立や孤独感、医療や介護への負担、子育てへの不安など、様々な生活課題を抱えています。

このような状況の中、住みなれた地域で安心して生活ができるよう、住民相互が支え合う「共助社会づくり」の推進が、ますます重要となつてきていると言えます。

福岡県民生委員児童委員協議会は、基本的な人権について理解を深め、個人情報取り扱いに十分配慮し、誰もが安心して生活できる地域社会づくりのため、地域のネットワークを活用し、高齢者の孤立死防止、地域に根差した一人暮らし高齢者の見守り活動、児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る取組み等を進めてまいります。

また、多くの福祉課題を抱える生活困窮者（家族）に粘り強く接し、地域社会とのつなぎ役を務めてまいります。

私たち民生委員児童委員も、地域福祉の担い手として、常に地域住民の立場に立ち、住民や関係機関と信頼関係を構築しつつ、日々の活動に邁進してまいります。

今後とも、皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

## 事例報告

# 住民参加の共に支え合う福祉のまちづくり

## 住民の支え合いマップづくり

～飯塚市社協の取り組み～

無縁社会を克服するために、私たちには何ができるでしょうか。地域がどのような課題を抱え、また、どのように課題解決に取り組んでいるのかについて取材しました。

飯塚市社協では、見守りや買い物支援といった基盤支援が必要な一人暮らし高齢者などの地域での暮らしぶりを把握するため、二瀬地区民生委員児童委員協議会（吉川守会長）の全面的な協力を得て、同地区の約3,100世帯を対象に訪問聴き取り調査を実施しました。

この事業は厚生労働省が推進している「安心生活創造事業」の一環として、昨年1月から3月に実施されたものです。

調査の結果は、本人の同意に基づき、回答者の居住地区を担当する民生委員・福祉委員・自治会長・自主防災組織と飯塚市、飯塚市社協が情報を共有しています。

飯塚市社協では、この調査結果を、民生委員別要援護者台帳として整備するとともに、「福祉マップ」を作成し、「住民の支え合いマップ」へと発展させていく取り組みを進めています。

これは、調査結果を自治会単位の住宅地図に落とし込み、「支えあいの線」を引くことにより、要援護者を取り巻く地域の支えあいの現状と問題点を可視化・共有することを目的としており、「ご近所福祉」づくりの基盤となる作業です。

2月27日・28日に、飯塚市社協が開催した「住民の支え合いマップ」作成セミナーでは、住民流福祉総合研究所木原孝久所長を講師に迎え、講演や、「支え合いマップづくり入門」



西横田自治会の皆さん

と題して、民生委員・自治会長、福祉委員等を対象に、実際にマップ作りの演習を行いました。

参加された二瀬地区民生委員の方は、「要援護者の情報がひと目でわかりやすく、情報収集に役立ちます。マップを民生委員だけでなく福祉委員や社協、市と共有すれば、日頃から安定した支援が継続できるし、何かあった時、迅速に対応でき効果的」と語ってくださいました。

## 身近な福祉活動の重要性

～小地域単位の取り組み～

このように、無縁社会を乗り越える道筋の一つは私達の身近な地域にあります。

これまで地域で行われてきた「ひとり暮らし高齢者見守り活動」を効率的で漏れないようにすることが重要ではないでしょうか。

福岡県では、市町村に対して「ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク協議会」の設置等の取組を支援してきました。

今後は、見守り活動を確実に継続して実施するために、小地域（小学校や町内会などの単位）ごとに「見守り活動チーム」を編成することが重要です。

このため、県では、市町村の取組の先進事例の紹介や市町村相互の情報交換のための研修会を開催しまし

た。

2月25日に開催された研修会では、前述の飯塚市の取組や、飯塚市と同じく厚労省のモデル事業である「安心生活創造事業」を実施する春日市の取組が紹介されました。



「無縁社会」の背景にある「社会的孤立」は、もはや個人の力では防ぐことができません。

これまで民生委員や福祉委員、自治会の方々が中心で取組まれてきた「見守り活動」や「サロン活動」を無縁社会に歯止めをかける一つの方法と位置づけ、推進を図る必要があります。

# 子育ての緊急時に備えて

## ファミリー・サポート・センター事業担当者会議

現在、厚労省が推進している「病児・緊急対応強化事業（以下、「病児対応事業」という）」は、厚労省が平成17年度から取り組んでいる緊急サポートネットワーク事業（以下「緊急サポート事業」という。）が前身です。福岡県では、福岡県社協が平成18年12月1日付けで厚労省から受託し、4市1町（大野城市、太宰府市、春日市、筑紫野市、那珂川町）で取り組んでいます。

厚労省では、平成20年で緊急サポート事業を廃止し、市町村が実施するファミリー・サポート・センター事業（以下、「ファミサポ事業」という。）の内容を拡充して対応するとの方針を示しましたが、福岡県社協がこれまでの実績を基に、事業の継続について強く要望したところ、平成22年度までは時限措置で実施することが可能になりました。

現在、ファミサポ事業を実施する19市町村の中で、病児対応事業を実施する市町はなく、41市町村では、ファミサポ事業が実施されています。

厚労省の雇用均等児童家庭局職業

家庭両立課からの呼びかけもあり、福岡県社協では、病児対応事業の拡充を図る担当者会議を2月8日に行い、市町村子育て支援担当職員やファミサポ事業運営団体実施責任者など40名が参加しました。



### 緊サポ事業コーディネーターに聞く 事業利用者の声

福岡県社協から業務の一部再委託を受け、緊急サポート事業に取り組んでいる特定非営利活動法人チャイルドケアセンター大野城（大野城市）、特定非営利活動法人子育てサポートぼびんず（太宰府市）の事業コーディネーターに利用者の切実な声を伺いました。



#### 田中 成子さん

特定非営利活動法人  
チャイルドケアセンター大野城



「本事業の期限を伝えていたにも関わらず、登録会には多数の方々に参加いただきました。登録者は簡単に子供を預けません。事業実施件数は少なくても、登録者の多さが事業の必要性を伝えていていると思います。もともとファミサポ事業を実施していた経緯で緊急サポート事業に取組むことになりましたが、ファミサポ事業と緊急サポート事業を受けることでファミサポ事業でも安心して、緊急性のある事例に対応することができました。ファミサポ事業を実施している市町村は是非、緊急サポート事業にも積極的に取組まれることをお推しします。」

#### 倉富 京子さん

特定非営利活動法人  
子育てサポートぼびんず



「太宰府市では、ファミサポ事業の一環で、病児預かりをしています。緊急サポート事業を受託することで、市を超えた活動ができるようになりました。」

緊急サポート事業の件数は少ないがファミサポ事業で預かっているお子さんを、病気の時も預けられる安心感が利用者にも与える大きさを援助者である私たちも実感することができ、事業の大切さを肌で感じています。」

福岡県社協は、病児対応事業が、ファミサポ事業へ移行できるように、行政、ファミサポセンターなどの関係機関と話し合いを重ねていきます。

#### 【問合せ先】

福岡県社協

子育て支援事業推進室

TEL 092 (584) 3785



# 平成22年度 赤い羽根共同募金 実績報告

# 福岡県の福祉を支える赤い羽根

## 平成22年度実績報告 〜地域を支える募金活動〜

10月1日から3カ月間実施した**赤い羽根共同募金運動**と、12月1日から1カ月間実施した**歳末たすけあい運動**では、多くの貴重な浄財をお寄せいただきました。

県民の皆様のあたたかいご協力を、心から感謝申し上げます。

平成22年度の募金額は、経済不況が依然として続いている中、前年度比97・1%となり、前年度よりも募金額は下がりましたが、全国平均を上回る実績となりました。

地域の身近な福祉活動を支援する共同募金の役割は年々重要になっており、お寄せいただいた募金は、「無縁社会」「孤独死」「買い物難民」「老介護」「子育て支援」「災害時のボランティア活動」などの**地域の課題解決のための活動の財源**や、「児童養護施設等に入所している中学・高等学校卒業生者に対する、進学・就職準備のための支援金」など、**福岡県の共助社会づくり**の実現のために幅広く活用しています。

## 減少する共同募金実績額 〜地域福祉財源を支える〜

福岡県の募金実績は、平成11年度の10億7,300万円余を境に減少しており、平成22年度はピーク時の約73・9%となる7億9,200万円余となっております。

このような状況の中、福岡県では、地域の課題解決の財源を確保するため、平成19年度に、地域配分を重視した独自の募金改革を実施しました。

また、ポスターやチラシ等の見直しや、新しい募金資材の開発発、「赤い羽根自販機」の設置推進などを行い、募金実績の向上に努めています。

これらの取り組みの結果、平成22年度募金実績額（2月18日現在）、地域配分の割合（平成22年度の配分計画額）は、共に全国6位であり、福岡県独自の改革の効果が確実に表れているといえます。

特に、売り上げの一部が共同募金に寄付される「赤い羽根自販機」は、積極的に設置推進に努めた結果、平成22年度は新たに60台を設置するこ

とができました。

これまでに企業、社会福祉施設、病院、公民館などに112台を設置し、募金額は、平成21年度の2倍となる400万円余となりました。

設置者が負担なく地域貢献できるだけでなく、販売手数料による収入も見込める赤い羽根自販機の推進は、今後も積極的に推進していきます。

このように、従前の取り組みだけでなく、新たな募金方法を模索することで、経済状況に左右されず、安定した地域福祉の財源を確保する取り組みが、今後必要となります。

## 福岡県の福祉活動を支える ために求められているもの

共同募金運動は、民間の社会福祉活動を応援するために、社会福祉法で定められた住民主体の活動です。

今年度で64回目を迎えた共同募金では、これまで地域の課題から地域の身近な課題まで、様々な福祉課題の解決のために募金を活用してきましたが、その活動が多岐にわたっているため、使い道がわかりにくく

なっているのも確かです。

共同募金の使い道については、インターネット上で広く公開していますが、共同募金が何に使われているかを、より多くの人たちに知ってもらう、理解していただくために、今後も積極的な活動を行います。

### 【問合せ先】

福岡県共同募金会  
Tel 092 (584) 3388

## ハートがつなぐ地域の輪 …赤い羽根共同募金

平成22年度実績  
792,863,644円  
(内訳)  
一般募金  
667,682,946円  
歳末たすけあい募金  
125,180,698円

## 高齢者サークル紹介

# 奥深き太極拳

## 福津会 福間教室

今回は、福津市の「太極拳 福津会」を紹介します。

今から23年前に、代表である秋満光江さん（73歳）が立ち上げました。現在22名（男性10名・女性12名）のメンバーで、毎月3回、福津市中央公民館で活動しています。

## 若さの秘訣

福津会では、最初に30分間の全身ストレッチを行っています。その中で、健康医療体操である錬功十八法（上海医師考案によるもの）も取り入れています。ゆっくり体の筋肉や関節をほぐしていきます。



体の柔らかいみなさんです

ストレッチでは、参加者みなさんの体の柔らかさに、驚かされました。中でも、ひときわ体の柔らかい瀬口タミ子さん（72歳）は、太極拳歴16年とのことでした。体のしなやかさ、これこそが、若さの秘訣だと感じました。

## 入門はあるけど、卒業はない

次に、二十四式太極拳を行いました。ゆるやかな一つ一つの動きは、つながって流れているように見えました。

膝が悪く、いろいろなことを試してみた末に太極拳と出会ったという入江大二郎さん（75歳）は、「習い始めて8年。太極拳のおかげで、膝の痛みも自然と消えました。やればやるほど、楽しくなってきました。」と、生き生きとした表情で語られました。

代表の秋満さんは、最初は、旦那

さんに誘われて始めたのがきっかけだそうです。7つの教室で教えているようですが、参加者は30代から80代まで様々だそうです。教えていて感じることは、「太極拳は、正しく覚えていくことが大切で、知れば知るほど奥が深いものです。太極拳に



音楽に合わせてゆっくり、しなやかに

代表の秋満さん



卒業はありません。」と、笑顔で語ってくれました。

参加者のみなさんが口をそろえて言われることは、「太極拳は、始めると体によい変化が現われてくるので、やめられません。」ということでした。

みなさんの、笑顔と元気。それから体の柔らかさがとても印象に残りました。



記念写真をパチリッ

高齢者サークルに関する問合せ先

（サークル取材も承ります）

地域福祉部 生きがいづくり課

Tel 092 (584) 1401

# 相談あれこれ

このページは、Q & A形式で、認知症に関わる、高齢者の生活問題について取り上げ、それに対する対応策や制度について紹介します。

## Q 認知症の方の昼夜逆転の改善方法について

91歳の認知症の祖母は、最近、昼間寝ていて夜一人で起きていてという昼夜逆転の生活スタイルが続いています。夜半、皆が寝ている時間に部屋の中をウロウロしたり、外に出ようと戸を開けようとします。足がふらつき、歩行器による移動のため転倒などの恐れもあることから介護者の私も安心して睡眠を取ることができません。

一度改善すれば直ると思います、睡眠導入剤を使って夜に寝かせたいのですが、どうでしょうか。年齢のこともあり薬を使うのは少々心配です。認知症の方の昼夜逆転の改善方法を教えてください。

## 認知症の方の昼夜逆転について

原因はいろいろ考えられますが、

- ①昼間寝てしまい不活発な生活をしているため夜間に目が覚めてしまう。
- ②夕食が早いと夜間空腹で眠れない。
- ③薬（睡眠導入剤）が合わない等があります。

夜に就寝してもらうのに一番効果的なのは、昼間適度に体を動かし昼夜のリズムを作ることです。デイサービスやデイケア等を利用し日中の活動性を高めることも有効な方法です。

夕食のほかに夜食で胃にあまり負担がかからないものを食べると満腹感で眠りにつけることもあります。夕食の時間や就寝の時間が早すぎるのも昼夜

## A デイサービスやデイケア、ショートステイなど介護保険サービスを活用し日中の活動性を高める

逆転になる原因となります。薬（睡眠導入剤）の服用に関して高齢者の場合は、効果が現れるまでに時間がかかる、薬が体に蓄積されやすいなどの特徴があります。

かかりつけ医に、本人の状態を具体的に伝え、相談することが必要です。

## 介護者の負担軽減について

認知症の方の昼夜逆転は介護者の方にとって、夜中まで対応をしなければならいため、介護負担が大きくなります。可能であれば、ショートステイなどの介護保険サービスを利用して、介護者自身も体を休める工夫をしてください。

## 認知症電話相談

福岡県社会福祉協議会 高齢者総合相談事業  
TEL 092-584-3317

認知症予防に関する質問、認知症の症状、介護の仕方等に関する相談、家族介護における心構えや具体的な接し方、介護疲れや悩みの相談などお気軽にご相談ください。

○担当相談員：介護経験者  
（認知症の人と家族の会福岡県支部）  
相談日 火曜日、金曜日  
相談時間 10:00～16:00

○担当相談員：保健師  
（福岡県在宅保健師若草会）  
相談日 木曜日、土曜日  
相談時間 10:00～16:00

# お知らせ 掲示板

\* 3月からの行事予定について紹介します。

## 募集します

障害者がつくるまごころ製品キャン

ペーン

目的

福岡県では、障害者の皆さんがまごころを込めて育てた芋を原料とし

た焼酎「自立」を障害者施設と共同で開発し、昨年8,000本製造、販売したところ、完売しました。

今年、県内9カ所の施設が参加し、3月26日から自立の販売を開始します。販売本数は約10,000本です。販売に先立ち、多くの県民の皆さんに知っていただくために「障害者がつくるまごころ製品キャンペーン」を開催します。

まごころ製品を知っていただき、購入いただくことにより、障害者の皆さんの自立を応援してください。

日時

平成23年3月26日(土) 13時~15時

場所

イオンモール筑紫野

筑紫野市立明寺

内容

当日は「自立」の先行販売に加え、菓子、パン、縫製品をはじめとする「まごころ製品」の販売を行います



申込・問合せ先

福岡県福祉労働部障害者福祉課

TEL092(643)3263

行ってみませんか

第49回福岡県身体障害者体育大会

目的

身体障害者がスポーツを通じて、残存機能の回復と体力の維持・増強を図り、自らの障害を克服して明朗・快活かつ積極的な性格を養い、社会の身体障害者に対する認識と理解を深めることを目的とします。(入場無料)

日時

平成23年5月8日(日)

午前10時から午後5時

\*雨天決行

会場

博多の森陸上競技場(開会式、陸上競技)

博多の森補助競技場(フライング)

ディスク競技)

クローバープラザ・アリーナ棟(水泳競技、アーチェリー競技、卓球競技)

問合せ先 福岡県福祉労働部障害者福祉課

TEL092(643)3262

TEL092(643)3262

福祉課



昨年開催された大会の様子

社会福祉施設  
総合損害補償

# しせつの損害補償

迅速で丁寧、かつ適正なお支払い!!

ホームページでも内容を紹介しています。  
<http://www.fukushihoken.co.jp>



## プラン1 施設業務のための補償

(賠償責任保険、傷害保険、動産総合保険)

### ▶補償金額

	基本補償(A)	見舞費用付補償(B)
対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
初期対応費用(期間中)	500万円	500万円
事故初期見舞費用(1名につき)	死亡 10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (通算で10万円限度)	死亡 10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (通算で10万円限度)
利用者傷害死亡事故弔慰金		死亡(重傷後遺障害) 100万円(78~100万円)
利用者傷害事故見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

### ▶年額保険金(掛金)

●基本補償(A) 保険期間1年職種別A級

定員	基本補償(A)
1~50名	33,000~59,400円
51~100名	66,000~94,200円
101~150名	96,000~103,200円
151~200名	104,700~110,700円
以降1名~10名増ごと	1,500円

### ●見舞費用付補償(B)

基本補償(A) 保険料	+	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所:1,400円 通所:1,500円
----------------	---	---

●オプション1 ●訪問・相談等サービス補償 ●オプション2 ●施設の医療事故補償

### ②個人情報漏えい対応補償

施設の利用者の個人情報が一時的に漏えいし、法人に法律上の賠償責任が発生した場合の損害賠償金等を補償

### ③施設の什器・備品損害補償

○施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償  
○施設の現金等も補償

## プラン2 施設利用者のための補償 (傷害保険)

①入所型施設利用者の傷害事故補償 ②通所型施設利用者の傷害事故補償

### ▶補償金額

	1口あたりの補償額
死亡保険金	100万円
後遺障害保険金	死亡保険金額の3~100%
入院保険金(1日あたり)	800円
手術保険金	8,000円・16,000円・32,000円
通院保険金(1日あたり)	500円

### ▶年額保険料(掛金) 保険期間1年職種別A級

	定員1人1口あたり
入所型施設利用者	1,410円
通所型施設利用者	960円

### ③施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

施設送迎車に搭乗中のケガに対し、2-①、②の傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償

## プラン3 施設職員のための補償 (労働災害総合保険、傷害保険、約定履行費用保険)

①施設の労災上乗せ補償 ②施設職員の傷害事故補償 ③施設職員の感染症罹患事故補償

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記をお願いします

団体  
契約者  
社会福祉法人  
全国社会福祉協議会

株式会社 福祉保険サービス  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763  
<引受幹事保険会社>株式会社損害保険ジャパン(SJ09-08936,2010/02/19)

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(「賠償責任保険」「傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

# 高齢者にやさしい 自動車開発シンポジウム



高齢者にやさしい自動車  
デザインコンテスト最優秀作品

■日時  
平成23年3月24日(木)  
13:30～15:30

■会場  
国際会議場  
2階多目的ホール  
(福岡市博多区石城町2-1)

■定員  
800名

■問合せ先  
高齢者にやさしい自動車開発  
シンポジウム事務局  
(福岡県商工部自動車産業振興室内)  
TEL: 092-643-3447

## 1 開会挨拶及び基調講演

高齢者にやさしい自動車開発推進知事連合  
会長 福岡県知事 **麻生 渡**



## 2 知事連合活動報告

高齢者にやさしい自動車コンセプト  
CG 上映

## 3 特別講演

「笑いある人生」  
～いきいきとした高齢生活を送るために～  
六代目 **三遊亭円楽**



【主催】 高齢者にやさしい自動車開発推進知事連合、福岡県、北部九州自動車150万台先進生産拠点推進会議  
【後援】 トヨタ自動車株式会社、日産自動車株式会社、ダイハツ工業株式会社、本田技研工業株式会社、  
【予定】 スズキ株式会社、富士重工業株式会社、マツダ株式会社、三菱自動車工業株式会社、  
社団法人福岡県老人クラブ連合会、福岡県地域婦人会連絡協議会

# 70歳現役社会づくりシンポジウム



## ■基調講演

「団塊の世代が活力ある社会を創る」(仮)  
作家・経済評論家 **堺屋 太一氏**

## ■研究会報告

福岡県70歳社会づくり研究会 委員長  
法政大学大学院教授 **藤村 博之氏**

## ■パネルディスカッション

「高齢者がいきいきと働き  
活躍することができる社会を目指して」

- ・富士電機ホールディングス(株) 特別顧問 加藤 丈夫氏
- ・プロデューサー 残間里江子氏
- ・NPO法人えふネット福岡 専務理事 蓼原 典明氏
- ・上智大学法学部教授 森戸 英幸氏

【堺屋太一】：東京大学経済学部卒業後、通商産業省入省。日本万国博覧会を企画・実施。退官後、予測小説「油断!」「団塊の世代」等がベストセラーに。98～00年まで経済産業庁長官を歴任。上海万博では日本産業館代表兼総合プロデューサーを務めた。

**参加  
無料**

■日時 3月28日(月) 13:30～16:30 (開場13:00)  
■会場 西鉄グランドホテル 2階プレジール (福岡市中央区大名2-6-60)  
■定員 500名 ※事前申し込みが必要となります。

お問い合わせ：福岡県福祉労働部労働局新雇用開発課 電話 092-643-3593